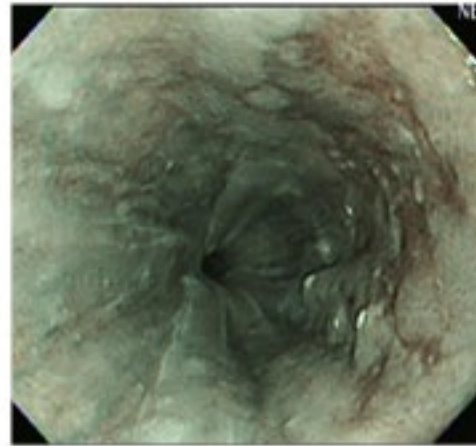
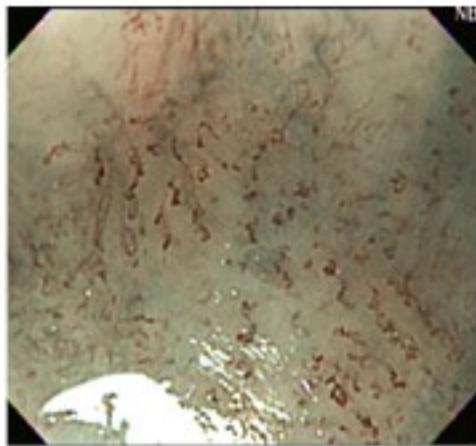


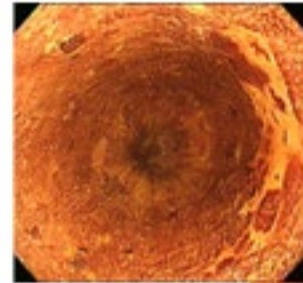
【早期食道癌】



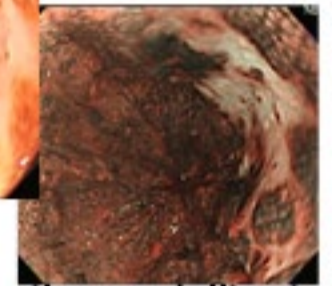
NBI systemの導入により、**NBI 観察**が可能となり食道微小癌の検出精度が向上しました。



拡大観察から癌の深さの診断を行います。

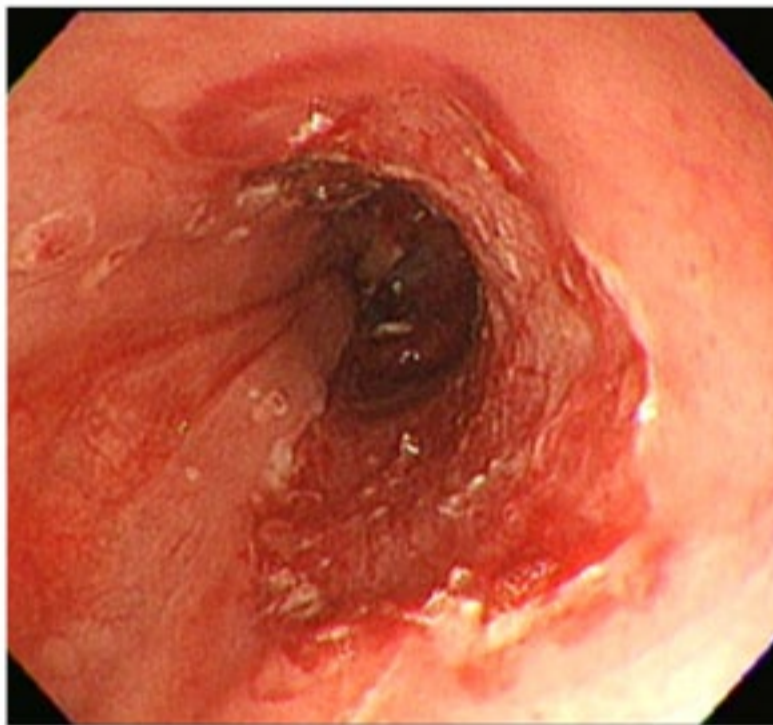


pink color sign

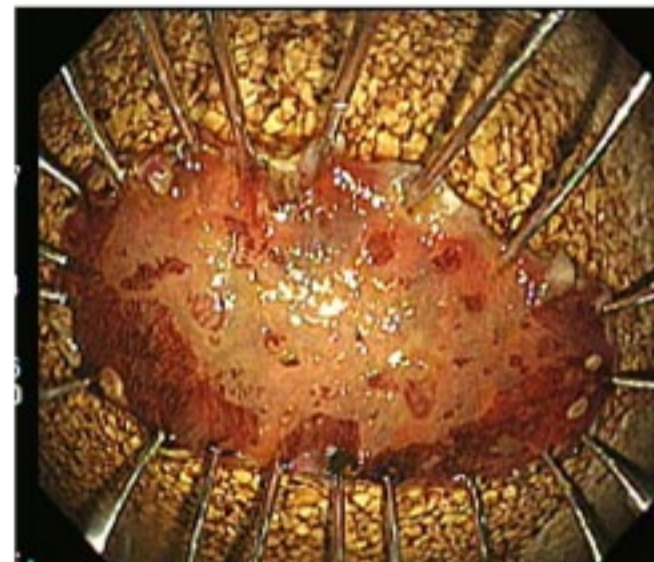


silver metallic sign +

本症例は内視鏡的に切除可能と診断し、**ESD**の方針としました。

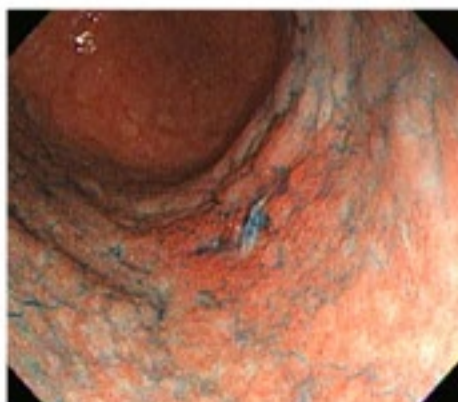


ESDにて一括切除しました。



色の淡い部分が早期食道癌です。

【早期胃癌】

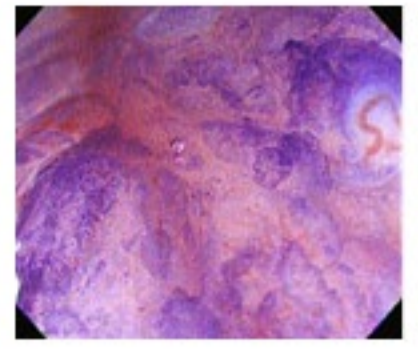
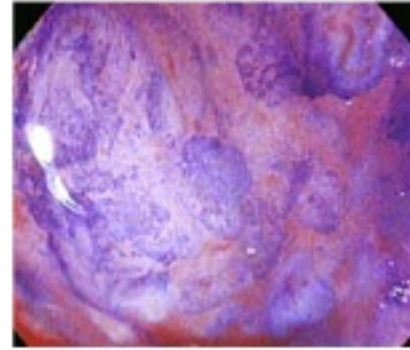
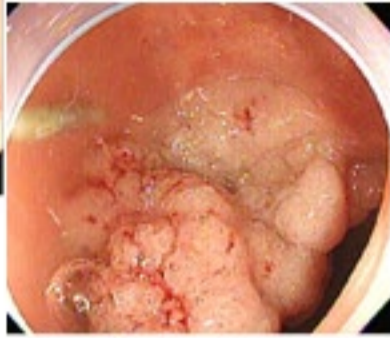


早期胃癌をESDにて切除しました。
出血も穿孔もなくとどきれています。

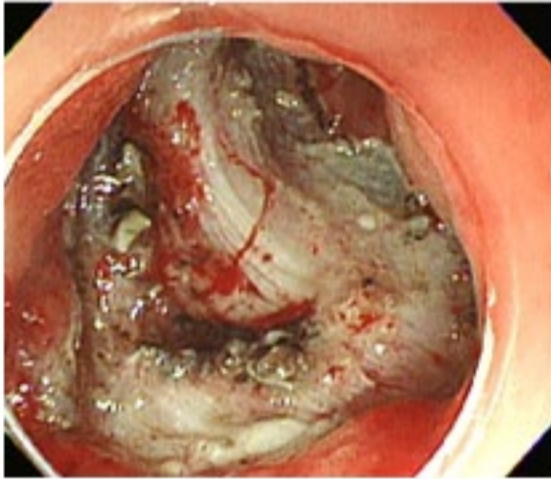
【早期直腸癌】



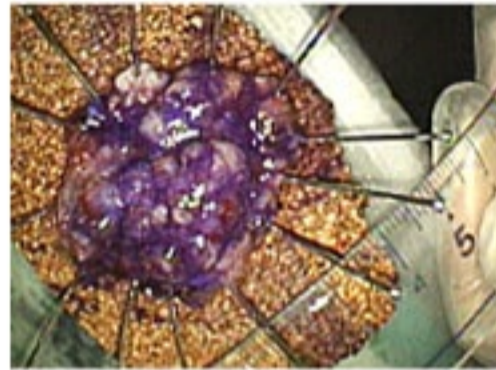
一視野で捉えることが
難しい大きな直腸癌です。



症例に応じて、ピオクタニン染色、拡大観察
(pit pattern)による深達度診断を行います。



周辺切開を行い、可能な限り粘膜下を剥離しました。
大きな結節を含む形で計画的3分割切除となりました。



拡大観察にて、周囲に遺残のない
ことを確認し終了しました。

今回お示した内視鏡治療は消化器医長 丸岡医師が担当しました。